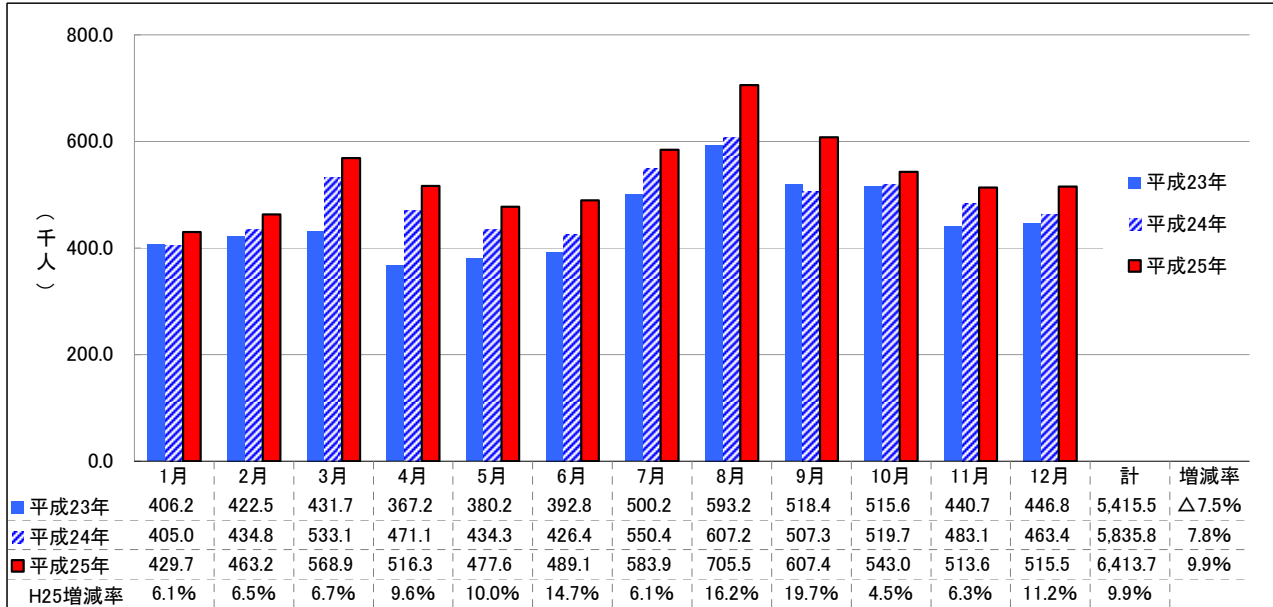


平成 25 年 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 26 年 1 月発表

平成 25 年（暦年）の観光客数は、641 万 3,700 人で過去最高
対前年（H24）比 +57 万 7,900 人、+9.9%

■月別入域観光客数の推移（平成 23 年～平成 25 年）



■平成 25 年の概況（総括）

平成 25 年の入域観光客数は 641 万 3,700 人で、対前年 57 万 7,900 人増加、率にして 9.9%の増加となり、これまでの過去最高であった平成 20 年の 604 万 5,500 人を大きく上回る観光客数を記録した。

月別では、1 月から 12 月の全ての月において、前年同月を上回り、8 月には初めて単月で 70 万人を超える客数を記録した。また、国内客、外国客ともに過去最高の入込であった。

前年と比べて増加した要因は、次の通りと考えられる。

- 円安に伴う旅行需要増
- 国内・海外航空路線の拡充（新石垣空港開港などによるもの）
- 沖縄本島への台風接近の減

さらに、こうした要因に加え、国内外における官民上げてのプロモーション活動が功を奏したとみられる。

■平成 26 年の見通し

景気回復基調にあることに加え、円安も継続すると予想されており、国内旅行市場は活況とみられる。沖縄発着航空路線の拡充に目立った動きはないものの、国内観光地でも特筆すべき誘客要因はないことから（平成 25 年の TDR30 周年キャンペーンなど）、沖縄への旅行需要は継続するとみられる。

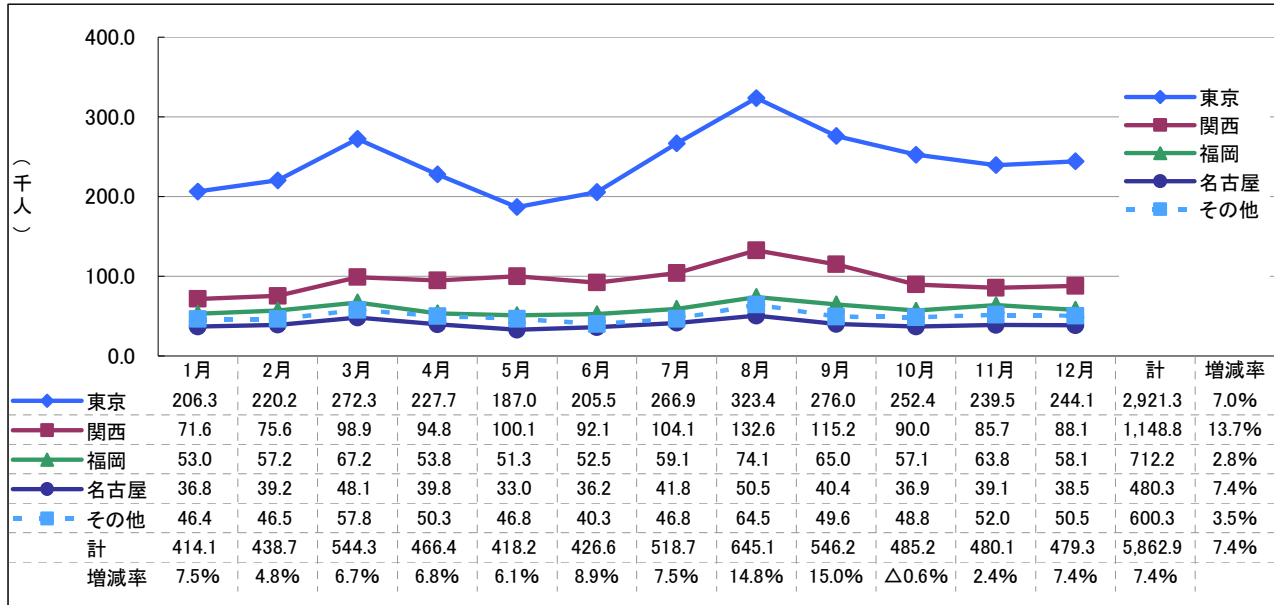
また、外国客については、那覇空港の新国際線ターミナルビル及び那覇港の旅客船ターミナルビル共用開始などハード面が整備されるのに加え、吉祥航空の就航、ロシアからのチャーター便就航、クルーズ船寄港回数増加により、これまで以上に増加すると見込まれる。

国内観光客の動向

■入域観光客数（国内）

平成 25 年の国内客は、586 万 2,900 人で、前年比で 40 万 3,800 人増、7.4%の増となり、過去最高となった。これまでの国内客の過去最高の入込は、平成 20 年の 579 万 3,900 人。

■平成 25 年国内観光客の状況（方面別の月別推移）



■国内観光客の概況

平成 24 年 11 月頃から継続している円安に伴い、国内旅行市場は割高感のある海外旅行から国内旅行へ需要がシフトしたことに加え、景況感が上向いたことが旅行需要増に拍車をかけた。また、平成 24 年と比べて 3 連休（GW、年末年始除く）が 2 回多く、旅行意欲にプラスに働いたとみられる。これらの動向を背景に、国内 LCC の沖縄路線就航（成田・関西）による誘客効果が継続されたこと、3 月の新石垣空港開港により石垣島発着の航空路線が拡充したことが入込増の大きな要因と考えられる。さらに、前年に比べて沖縄本島への台風接近が減り、特に、例年台風の影響を受けやすい 8 月及び 9 月においては、前年同月の実績を 15%以上も上回った。

【方面別の動向】

東京方面 ジェットスター・ジャパンやバニラ・エア（前身：エアアジア・ジャパン）、スカイマークの成田路線の拡充により増加。石垣、宮古方面への旅行需要も高かった。

関西方面 ジェットスター・ジャパン及びピーチ・アビエーションの路線就航の影響を大きく受け、増加率は主要方面で最も高かった。

福岡方面 航空座席数の伸びがなかったのに加え、沖縄旅行と同価格帯の東京方面や大阪方面の旅行需要におされ、微増。

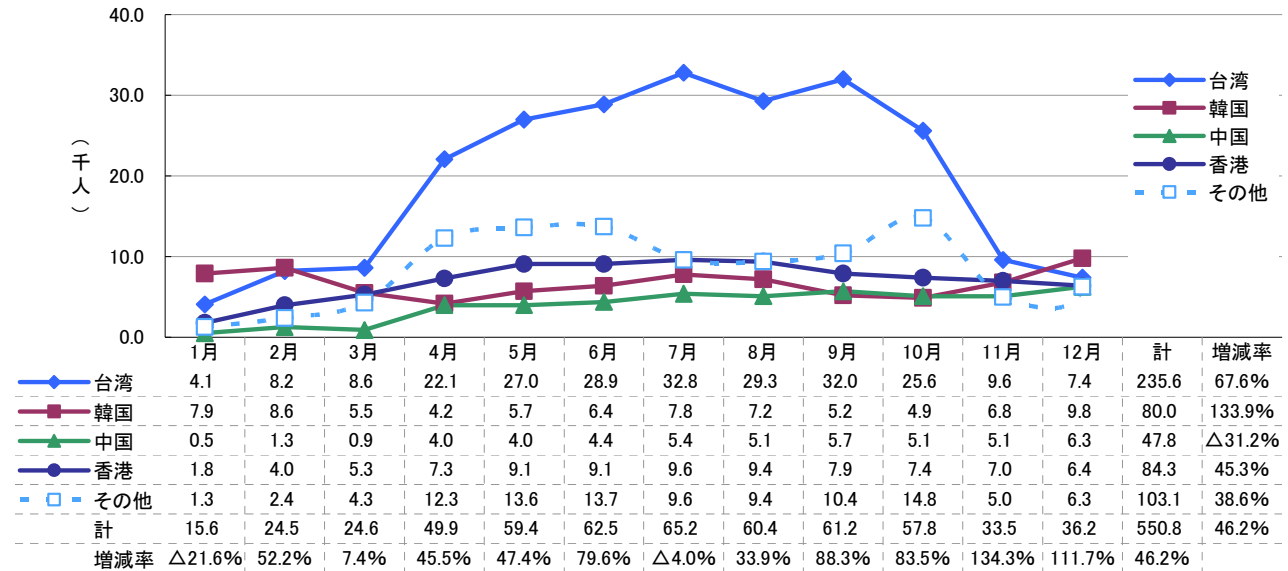
名古屋方面 中部地方に多く集積する製造業の業績回復傾向を背景に、旅行需要も安定し、関西方面に次ぐ増加となった。

外国人観光客の動向

■入域観光客数（外国）

平成 25 年の外国客は、55 万 800 人で、前年比で 17 万 4,100 人増、46.2%の増となり、国内客同様に過去最高となった。これまでの外国客の過去最高の入込は、平成 24 年の 37 万 6,700 人。

■平成 25 年外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



■外国人観光客の概況

平成 24 年 11 月頃から継続している円安に伴い、割安感のある訪日旅行需要が高かったことに加え、既存路線の増便、台湾におけるピーチ・アビエーションや韓国におけるジンエアーの既存路線への参入、チャーター便増加など沖縄発着路線が拡充したことが、入込増の大きな要因と考えられる。

さらに、重点市場（台湾、韓国、中国、香港）に比べてボリュームは小さいものの、タイなどの戦略開拓市場からの入込も増加した。

【国籍別の動向】

台湾 台北-那覇、台北-石垣路線の拡充により空路客を中心に増加。年間の観光客数は過去最高で、集計開始以来初めて 20 万人を超えた。

韓国 ソウル-那覇路線の拡充、釜山-那覇路線の定期便就航により増加。年間の観光客数は過去最高で、中国の観光客数を上回ったのは初。

中国本土 後半以降、運休していた航空路線の再開により回復傾向にあったが、前半の落ち込みをカバーできず、前年を下回った。

香港 尖閣関連の影響からの回復が早く、平成 25 年は年間を通して好調で、過去最高となった。